社会福祉法人菊水学園　令和７年度事業報告書

施設整備事業として、高玉館の LED 化改修工事および園庭東側ブロック塀の改修工事・菊水館南側境界の樹木をブロック塀に替える工事を行いました。

平成２８年改正児童福祉法は、「家庭養育優先原則」の理念により、施設は「児童を家庭や里親等の養育環境において養育することが適当でない場合」の養育環境として位置づけています。一昨年のユニット化工事、昨年のトイレ改修工事等により施設に求められる可能な限り良好な家庭環境と質の高い個別的なケアを実現するためのハード面での生活環境が整いつつあります。

ソフト面での養育環境として、職員の質の向上にも取り組んでいるところですが、児童に対する不適切な関わりがあったとして懲戒委員会が２回開催されました。こどもの権利擁護・施設内虐待防止・こどもの意見表明（アドボケイト）について、施設内外での研修に参加するなどして虐待防止に取り組んできましたが、子どもたちの安全安心を脅かすことになってしまいました。今後はこどもの権利擁護等の研修の機会を引き続き設けながら、勤務態勢の見直しとともに職員のメンタルヘルスやアンガーマネジメントにも取り組みたいと考えます。そして、こどもたちにとって安心安全な場所、職員にとって働きやすい職場である施設環境を目指します。

《児童措置状況》

月　別 （定　員）		4 (42)	5 (42)	6 (42)	7 (42)	8 (42)	9 (42)	１０ (42)	１１ (42)	１２ (42)	1 (42)	2 (42)	3 (42)
児童数	本　園	２４	２４	２４	２５	２５	２５	２４	２５	２７	２７	２７	２７
	さくら	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	あさがお	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	一時保護	2	3	1	2	5	5	4	3	1	1	1	1
	計	３６	３７	３６	３７	４０	４０	３８	３８	３８	３８	３８	３８

年間延べ児童数		月　平　均	充　足　率
菊水学園	４５４人	３７．８人	９０．１ ％

（１）養育・支援について

子どもが表出する感情や言動を受け止めながら子どもを理解することに務め、秩序ある生活を通して基本的生活習慣の確立を目指すとともに、人との関係づくりのための支援を心がけた

①食生活

- マナーの習得（箸使い・食べ方・姿勢など）
- 嗜好や健康状態に配慮した食事の提供
- 献立や季節の料理・行事食に関する情報などを掲示し、子どもの発達段階に応じた食習慣を身につけることができるよう取り組む
- 食中毒や感染症の防止や発生時の対応について周知し、園内での感染防止に努める（コロナ･インフルエンザなど）
- リクエストメニュー（誕生日に好きな献立をリクエストする）の実施

②衣生活

- 衣服は清潔で、体に合い、季節にあったものを随時購入して着用
- 職員と一緒に衣類の購入に出かけ、洋服や靴のサイズを知り、衣服を通して適切な自己表現ができるよう支援

③住生活・環境整備

- 居室等施設全体の整備に努め、網戸や窓ガラス、壁紙等の修理については迅速に対応した
- 各自の居室が子ども一人一人にとって、安全・安心を感じられる場所となるように配慮し、整理整頓が苦手な子どもには置き場所を決めて収納場所にラベルを貼るなどの工夫をした
- 樹木の剪定や除草・落ち葉の掃除など、園庭の美化を心掛けた

④健康と安全

- 発達段階に応じ、自己管理ができるよう支援した
  （手洗い、歯磨き、洗面、排泄、入浴、着替え、睡眠、服薬など）
- 医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は看護師に相談しながら適切に対応した
- 安全に登下校できるよう通学路を確認し、必要に応じて送迎を行った
- 高校生の自転車は定期的に安全点検（TS マーク）を行った
- 災害や事故発生に備え、毎月避難訓練を実施
- 性教育についての学習会は実施できなかった

⑤主体性と自律性の尊重

- 家族会議やスポーツ活動のミーティングにおいて、子ども自身が自分たちの生活について主体的に考え、自主的に改善していくことができるよう支援（意見表明支援）した
- 自分の気持ちをどのように言葉にするかなど、意見を表明できるよう支援（意見形成支援）した
- 計画的な小遣いの使用や金銭の自己管理ができるよう教えた
- 高校３年生が NPO 法人 B4S の巣立ちプロジェクトに参加して、退所後の生活（アパートの借り方、ひと月の生活費など）について学んだ

⑥学習・進学支援、就労支援

・　学習環境を整え、学力に応じた学習支援を行い、進路の自己決定ができるように様々な情報を提供するなどの支援を行った

中学３年生　･･･　高校進学２名（うち１名は家庭復帰）

高校３年生　･･･　就職５名（うち障がい者枠での就職３名）

⑦心理的ケア

・　心理的ケアが必要な子どもには、心理士が定期的にカウンセリングを行った

・　発達検査や知能検査を行い、必要に応じて医療機関に繋げた

⑧自立促進とアフターケア

・　子どもが安定した社会生活を送ることができるように、退所後も電話や訪問による交流を行った。相談や状況報告で来園する子どもがいた。

・「きずなコネット」の利用。アプリを利用して児童と施設スマホで連絡を取った

⑨スポーツ活動

・　希望者は学校の部活動に入部。目的を持って積極的に活動できるように支援した（陸上部・バドミントン部）

・　年間を通してスポーツ活動を行った

児童福祉施設球技大会、秋季児童養護施設親善スポーツ大会

熊本西ロータリークラブ杯 駅伝&マラソン大会

⑩社会教育活動

・　小学生女子７名がガールスカウト熊本県第１０団に所属し、他の団のスカウトやリーダーとの交流を深め、募金活動などを行った

（２）家族への支援

①家族関係の調整

・　児童相談所や関係機関と連携し、家族からの相談に応じた

・　ﾌｧﾐﾘｰｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰが児童相談所の担当ｹｱﾜｰｶと家庭を訪問し、面会や外泊を促すなどしながら、子どもと家族との関係作りに取り組んだ

②家庭復帰

・　親の就労状況や生活状況、安定した生活環境や親子関係などを把握し確認しながら家庭復帰のための支援を行った（家庭復帰２世帯）

③家庭生活体験事業

・　里親専門相談員が家庭との関わりが無い子どもに里親登録者との交流を提案し、外出や外泊を通して関係を築いた（児童１名実施）

（３）地域への支援

①関係機関との連携

・　児童相談所と子どもや家族の情報を共有し、解決に向けて協働して取組んだ

・　小・中学校、高等学校と連携を密にとり、施設の支援方針と学校の指導方針とを確認し合いながら対処した（教育相談、個別ケース検討会など）

・　PTA 活動や学校行事に積極的に参加協力した

②地域に対する子育て支援

- 熊本市と子育て短期支援事業委託契約し、ショートステイ事業を実施した
- 託麻原校区の子育て活動や他の各種団体の会議や研修に会場を提供した
- 毎月第１土曜日に交流館で２町内サロンを実施した

③地域との交流

- 自治会や子ども会等と協力して再生資源回収を行った
- 自治会役員として会議やイベントに参加協力した

（４）職員の資質向上

①研修会への参加

- 九州地区児童福祉施設職員研究大会（大分)、児童養護問題研究会（東京)、全国施設長研究協議会（仙台）など、集合型の研修会に参加。
- ZOOM や Web 配信の研修を受講して、専門的知識を習得
- 施設内研修の実施（全職員が参加）
  にじいろ CAP 代表理事 重永侑紀氏・・「権利条約・子どもの権利擁護など」
  人権研修（Web)、アドボカシー研修（ﾄﾅﾘﾋﾞﾄ）

②支援についての相談の場を設けた

- 年度初めに全児童の自立支援計画を作成、必要に応じて変更
- 各ホーム１回／月のケース検討会を行う。子どもの状況と対応について、施設長や専門職職員（心理士・FSW・看護師）からの意見や助言を交えて支援方法を検討した
- 職員と施設長との面接の機会を設けた。新規採用職員には各ホームリーダーが主となってサポートする他、看護師や心理士が日頃から声を掛けるなどして職員の困り感に早期に気付くことができるよう努めた

③職員の働きやすい環境を整備

- ホームリーダーが週休や勤務時間の調整を行い、年休取得を推進するなどして働きやすい環境作りに努めた。

（５）運営について

①運営理念の確立と周知

- 理念：「子どもの最善の利益の追求」の周知を図る

②事業計画の実施

- 施設整備　　高玉館 LED 化工事
- 構築物整備　東側ブロック塀、菊水館南側ブロック塀

③職員採用(募集)

- 大学や専門学校等に求人を出すと同時に、求人情報サービス業社に登録
- 令和８年度の新規採用職員は、ケアワーカー４名・調理員１名

（６）主な年間行事について

期　日	行　　事	内　　容
4 月 1 日	辞令交付式	新規採用職員８名
5 日	くるみ幼稚園入園式	１名
10 日	帯山中学校入学式	５名
11 日	託麻原小学校入学式	１名
21 日	中国料理のプレゼント	日本中国料理協会 熊本県支部様
26 日	交流試合（野球・ﾊﾞﾚｰ）	熊本県運動公園
5 月 17 日	帯山中学校運動会	
24 日	託麻原小学校運動会	
26 日	ｻﾂﾏｲﾓ苗植え体験	熊本南ﾗｲｵﾝｽﾞｸﾗﾌﾞ招待行事
6 月 1 日	ｶﾞｰﾙｽｶｳﾄ熊本県連盟　ふれあいの日	熊本市動植物園
7 日	田植え招待　市管工事協同組合様	大津町真木地区水田
21 日	薬物乱用「ﾀﾞﾒ。ｾﾞｯﾀｲ。」普及運動	ガールスカウト活動。下通りにて
28 日	法律教室（高校生参加）	熊本県青年司法書士会
7 月 5 日	職場見学&説明会（ﾋﾙﾄﾝ福岡にて）	NPO ﾌﾟﾚｲｸﾞﾗｳﾝﾄ･ﾞｵﾌﾞ・ﾎｰﾌﾟ招待
6 日	熊本県児童養護施設球技大会(野球)	熊本県運動公園
7 日	七夕	
13 日	熊本県児童養護施設球技大会(ﾊﾞﾚｰ)	益城町体育館
30 日	はなわが応援！ ﾐﾆﾗｲﾌﾞ	県遊技業協同組合様

8 月 1 日	夏まつり	菊水学園食堂・交流館
2･3･4 日	一日旅行（ﾏﾘﾝﾜｰﾙﾄﾞ他）	ﾎｰﾑ毎に実施
6 日	絵本寄贈式　生命保険協会熊本県協会様	県内施設の代表として
6 日	お仕事カフェ　YMCA 本館にて	熊本市青年会議所
7 日	くまもと未来奨学会　見学ツアー	阿蘇くまもと空港・RKK 熊本放送局
8 日	映画招待　劇場版「鬼滅の刃」無限城編	TOHO シネマズ熊本サクラマチ
20 日	くまもと未来奨学会　見学ツアー	鶴屋百貨店・平田機工
24 日	２町内夏まつり	北原公園にて
26 日	納涼夕食会「葉月の夕べ」	熊本東 RC さま
9 月 28 日	お月見会	ﾌﾟﾚｲﾙｰﾑでお話し･ｸｲｽﾞなど
10 月 11 日	稲刈り招待　市管工事協同組合様	
19 日	児童養護施設親善秋季ｽﾎﾟｰﾂ大会	ﾌｯﾄｻﾙ・ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ
26 日	芋掘り体験	熊本南ﾗｲｵﾝｽﾞｸﾗﾌﾞ招待行事
11 月 2 日	ハロウィン	
8 日	防災デー　防災訓練参加	渡鹿公園にて
9 日	ガールスカウト熊本県連盟ラリー	熊本市北部公民館
19 日	体験縁日　ｵﾌｨｽ KUDOU 様、天満堂様	
19 日	スポーツ大会慰労会	焼肉きんぐ・スタミナ太郎
22 日	市認定農業者協議会　農産物贈呈式	熊本市農業支援課

12 月 6 日	もちつき　農業後継者ｸﾗﾌﾞ中央支部	第 50 回(R2 ～ 4 はｺﾛﾅで中止)
20 日	犬や猫ってどんな動物？ ～命の授業～	ｿﾞｴﾃｨｽｼﾞｬﾊﾟﾝ様・熊本動物学院様
21 日	クリスマス会	熊本南ﾗｲｵﾝｽﾞｸﾗﾌﾞ様
22 日	クリスマス会　ベルエアマックス様	ﾋﾞﾝｺﾞｹﾞｰﾑ・たこ焼き
25 日	菊水学園クリスマス会	
31 日	おせち料理　寄贈	ホテルキャッスル様
1 月 1 日	元旦・初詣	新年会　神社参拝
12 日	託麻原校区　防災訓練・どんどや	託麻原小運動場
31 日	熊本西ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ杯駅伝&マラソン大会	益城町陸上競技場
2 月 3 日	節分　海苔巻き寄贈	海苔巻き普及会・寿司協会
11 日	バーベキュー会	よかおとこ会様よりプレゼント
3 月 1 日	高校卒業式	卒業生１名
3 日	ひなまつり	雛かざり　行事食
7 日	帯山中学校卒業式	卒業生２名
19 日	託麻原小学校卒業式	卒業生１名
20 日	卒業お祝い会	

〈毎　月〉

・避難訓練

・お誕生日会　・・・　各自の誕生日にリクエストメニューとケーキでお祝い

・ホーム単位での外出（買い物・映画・ラウンドワン・カラオケ・食事など）

〈定期的なボランティア等〉

・散髪奉仕（幼児・小学生・中高校生男子）　・・・　熊本県聾者理容組合

・熊本大学教育学部学生　・・・　学習支援（週２～３回）

（７）苦情解決体制整備について

申し出人	内　　容	対　　応
9月11日 近隣の方（男性))	「あさがお」のこどもが、のら猫に餌をやっている。 庭に糞をされて困っている。	まず謝罪する。 「地域ねこのお世話をされている方と一緒に餌をあげています。」 と状況を説明した。 高校生がお小遣いで猫の餌を購入し職員に隠れて与えていたことがわかり、餌やりを見かけて注意されたことがあると話した。 お世話をされている方が、民生委員さんなので、電話の内容について説明したところ、「こども達と一緒に餌やりするのは止めましょう。」と提案された。 民生委員さんにも苦情が届いているということだった。